

# 林業安全コラム

新たな時代にPDCA  
みんなで築こう ゼロ災職場  
(令和元年度 全国安全週間スローガン)

## ○林業労働安全に資する最新装置について

今月は、平成30年12月コラムに続き、林業労働安全に寄与する最新機器をご紹介します。

### ①(株)Globalstar Japan「SPOT Gen3」2018年7月より日本法人による発売開始



SPOT Gen3



- ・携帯電話の圏外エリアを移動する際に、GPS位置情報をGlobalstar衛星通信を利用して、家族、会社等に知らせることができる。
- ・手のひらサイズで持ち歩くのに邪魔にならない。
- ・緊急対応機関(GEOS)へ連絡するS.O.S. ボタン搭載。
- ・2007年のサービス開始以来、約6100件以上の人命救助実績あり。

- ・イギリス林業委員会は、携帯電話や無線通信の信頼性の低い地域で作業するスタッフの安全・安心のため550台を導入。
- ・日本でも、海外で使用する目的で多くの個人ユーザーが存在。
- ・電力会社、鉄道会社等の法人が購入を検討。

※詳しくは <http://www.globalstar.co.jp/>

### ②(株)藤工業 伐倒方向指示装置「ガイドレーザー」2019年5月より発売開始

#### ガイドレーザー使用方法

1

本体を木にベルトで固定。「レーザーヘッド」を(横向き)に。本体を左右にずらしながら伐倒方向に合わせます。

※目標付近のレーザー光が見えにくい場合、「受け口ガイド板」をレーザー反射板として使用します。



方向を調整

2

「レーザーヘッド」を(上下)に振り、木の傾斜と合わせます。向きを(下向き)にします。

※レーザー線が受け口の中心にくるよう角度を微調整します。



90° 下向きに

傾斜の微調整

3

「目印ライン」と「レーザー線」を合わせながら受け口をつくります。

※必要に応じ「受け口ガイド板」で水平度や深さを確認します。



レーザー線

伐倒方向

目印ライン

※あらかじめ、つけておきます。

かかり木による労働災害の撲滅を目的に、伐倒方向に対する正確な受け口作成を補助する装置。自己の感覚と実際の伐倒方向とのずれを認識することが可能。

※詳しくは <https://www.fjk-akita.jp/guidelaser.php>

※各県の林業大学校や研究所、試験場等での購入も是非ご検討下さい。

## ○労働安全衛生規則一部改正の施行まであと1ヶ月です！

受け口を作るべき対象が胸高直径20cm以上への拡大や、事業者はチェーンソーによる伐木作業等を行う労働者に下肢の切創防止用保護衣を着用させること、また、当該労働者は当該保護衣を着用すること等の規制強化の施行は本年8月1日からですが、施行前からの安全対策をお願いします。防護衣のご用意はお済みですか。

林業死亡労働災害多発警報発令状況：北海道（発令期間：R元. 5. 16～R元. 8. 31）

- ・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.html>

- ・林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。
- ・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

(お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局)

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-sosei.org

林野庁  
林業労働対策室  
労働安全衛生班  
TEL:03-3502-1629

# 林業安全コラム

身につけた  
基本動作が 身を守る  
(林災防2019年度労働安全標語)

## ○熱中症に警戒を！

平成30年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」（厚生労働省）によると、昨年の職場での熱中症による死傷者数（休業4日以上）は1,178名、死亡者数は28名となっており、平成29年と比較して、死傷者数、死亡者数いずれも2倍以上に増加しました。そのような中、林業では、熱中症による死傷者数は5人で前年より2人減少し、そのうち死亡者数は0人（前年も0人）でした。

様々な防衛策やご対応の結果だと考えますが、本年も7月までの涼しさから打って変わって全国的に記録的な暑さとなっています。管理監督のお立場の皆様におかれては、日頃から作業員の体調把握に努めていただくほか、作業員の身体に大きな負担をかけないよう日陰等の涼しい休憩場所の確保と休憩時間の十分な確保などにご留意ください。また、作業をされる皆様におかれては、こまめな水分・塩分補給、透湿性・通気性の良い服装の着用などに留意いただくほか、違和感を感じた際は躊躇せずに休憩することを心がけていただくようお願いいたします。※各県の皆様におかれては引き続きご指導をお願いいたします。

## ○平成31年、令和元の労働災害発生状況について

平成31年、令和元年における労働災害発生状況（速報）によると1月から6月の林業の死亡災害は16人で、前年同期比2人（14.3%）増加しています。

死亡災害発生状況（速報）

(令和元年7月8日現在)

業種	令和元年(1月～6月)		平成30年(1月～6月)		対30年比較	
	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	306	100.0	321	100.0	-15	-4.7
建設業	103	33.7	115	35.8	-12	-10.4
林業	16	5.2	14	4.4	2	14.3

資料：厚生労働省「令和元年における労働災害発生状況（速報）」

また、死傷災害は583人で、前年同期比29人（4.7%）減少しています。

死傷災害発生状況（死亡災害及び休業4日以上之死傷災害）（速報）

(令和元年7月8日現在)

業種	令和元年(1月～6月)		平成30年(1月～6月)		対30年比較	
	死傷者数(人)	構成比(%)	死傷者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	47,254	100.0	49,741	100.0	-2,487	-5.0
建設業	5,875	12.4	5,942	11.9	-67	-1.1
林業	583	1.2	612	1.2	-29	-4.7

資料：厚生労働省「令和元年における労働災害発生状況（速報）」

関係各位におかれては、基本動作の励行、労働安全衛生規則や各種ガイドラインを遵守するなど、引き続き労働安全確保に向けご協力をお願いいたします。

## ○労働安全衛生規則一部改正の施行について

8月1日より、チェーンソーによる伐木作業等の規制が強化されました。法令違反と言われることがないように、十分御理解の上、安全対策をよろしくお願いします。

※各県の皆様におかれては、引き続きご指導をお願いいたします。

**林業死亡労働災害多発警報発令状況：北海道（発令期間：R元.5.16～R元.8.31）**

・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.html>

・林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-sosei.org

林野庁  
林業労働対策室  
労働安全衛生班  
TEL:03-3502-1629

# 林業安全コラム

身につけた  
基本動作が 身を守る  
(林災防2019年度労働安全標語)

## ○令和元年の労働災害発生状況について

労働災害発生状況（速報）によると、1月から8月の林業の死亡災害は25人で、前年同期比6人（31.6%）増加しています。伐倒作業中の災害が多い傾向が続いています。

### 死亡災害発生状況（速報）

(令和元年9月9日現在)

業種	令和元年(1月～8月)		平成30年(1月～8月)		対30年比較	
	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	486	100.0	505	100.0	-19	-3.8
建設業	155	31.9	173	34.3	-18	-10.4
林業	25	5.1	19	3.8	6	31.6

資料：厚生労働省「令和元年における労働災害発生状況（速報）」

また、死傷災害は773人で、前年同期比41人（5.0%）減少しています。

### 傷災害発生状況（死亡災害及び休業4日以上の死傷災害）（速報）

(令和元年9月9日現在)

業種	令和元年(1月～8月)		平成30年(1月～8月)		対30年比較	
	死傷者数(人)	構成比(%)	死傷者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	69,029	100.0	71,253	100.0	-2,224	-3.1
建設業	8,464	12.3	8,669	12.2	-205	-2.4
林業	773	1.1	814	1.1	-41	-5.0

資料：厚生労働省「令和元年における労働災害発生状況（速報）」

関係各位におかれては、基本動作の励行、労働安全衛生規則や各種ガイドラインを遵守するなど、引き続き労働災害の撲滅に向けご協力をお願いします。

## ○林業労働安全に資する最新装置について

今回は、空調服についてご紹介します。空調服とは電動ファンにより風を強制的に作業服内に巡らせ、発汗の気化熱により冷却効果を発揮する作業着です。既にご存知で、購入されておられる方も多いかもかもしれません。先日、経営体で労働安全の取組のお話を伺ったところ、「以前、夏の暑さ対策として購入してみたが、作業員には重くて不人気」とのことでした。空調服は進歩しています。何よりもバッテリーが軽量化されています。また、これまでの外気を取り入れるだけではなく、専用のメッシュベストと保冷剤との組み合わせにより、酷暑環境でも空調服の効果を最大限発揮するようなアイテムも発売されています。また、空調のヘルメットや空調リュックなど様々な関連商品も販売されています。林業では使用できる環境は限定されると思いますが、まだまだ暑さ対策が必要です。林業経営体の経営層の皆様におかれては、従業員の熱中症対策としてご検討下さい。



空調服

空調ベスト

空調ヘルメット

空調リュック

※写真協力(株)エヌ・エス・ピー

### 林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）

・北海道（発令期間：R元. 5. 16～R元. 9. 30）・新潟（発令期間：R元. 8. 21～R元. 11. 30）

・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.html>

・林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-sosei.org

林野庁  
林業労働対策室  
労働安全衛生班  
TEL:03-3502-1629

# 林業安全コラム

健康づくりは 人づくり  
みんなでつくる 健康職場  
(全国労働衛生週間スローガン)

## ○第70回 全国労働衛生週間について



10月1日から7日は「全国労働衛生週間」です。  
「全国労働衛生週間」は、労働者の健康管理や職場環境の改善など『労働衛生』に関する国民の意識を高め、職場の自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的として、昭和25年に第1回が実施されて以来、本年で第70回を迎えます。  
各職場においては、事業者または総括安全衛生管理者による職場巡視、労働衛生スローガンなどの掲示などの取組を展開し、誰もが安心して健康に働ける職場づくりへのご協力をお願いします。  
広報用リーフレット⇒ [https://www.jisha.or.jp/campaign/eisei/pdf/eisei\\_leaflet2019.pdf](https://www.jisha.or.jp/campaign/eisei/pdf/eisei_leaflet2019.pdf)

## ○死亡災害が増加しています

今年の1月から8月の死亡者数は25人と前年の19人から31.6%増加しています。伐倒作業の安全確保を中心に労働災害防止の一層の取組をお願いします。

## ○林業労働安全に資する最新装置について



20gの発信器



発信機 + ヘリで早期発見!

今回は、会員制検索ヘリサービスについてご紹介します。山での「もしも」に備えるサービスで発信器を携帯していれば、非常時には信号をキャッチして捜索ヘリが発見してくれるそうです。会員に貸与される発信器は100円玉4枚分の20gの軽さで、内蔵バッテリーはフル充電から最大3ヶ月持続するそうです。詳しくは⇒ <https://hitococo.com/cocoheli/>

## ○林業労働安全の出前授業の実施について



9月26日、北海道岩見沢農業高校森林科学科2年生38名を対象に、林野庁経営課林業労働対策室による出前授業を実施しました。当日は講義のほか、VRシュミレータによるチェーンソー災害の疑似体験、ハーベストアシミュレータによる操作体験などを行いました。

生徒からは「最先端のVRで伐木の危険が良くわかった。空調服は是非演習林作業で着てみたい。」と高評価でした。林野庁からは「生徒の皆さんから家族、親戚、地域の方に労働安全を呼びかけて下さい。」と労働災害防止への協力をお願いしました。

**林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）**

・新潟（発令期間：R元. 8. 21～R元. 11. 30）

・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.html>

・林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-sosei.org)

林野庁  
林業労働対策室  
労働安全衛生班  
TEL:03-3502-1629

# 林業安全コラム

身につけた  
基本動作が 身を守る  
(林災防2019年度労働安全標語)

## ○ 台風等による被害木処理の安全確保について

本年は度重なる台風などの影響により、各地に大きな被害をもたらされ、大量の被害木（転倒木等）が発生しております。今後の本格的な被害木の処理に当たっては、通常の立木の伐倒とは異なり、伐倒時に不安定な状態にあること、切断時の跳ね返りの恐れがあることなど、労働災害を起こしやすい条件にありますので特に注意深い作業が必要となります。被害木の処理における安全確保に万全を期すようお願い致します。

## ○ 令和元年度の労働災害発生状況について

労働災害発生状況（速報）によると、1月から9月の林業の死亡災害は29人で、前年同期比5人（20.8%）増加しています。伐倒作業中の災害が多い傾向が続いています。

死亡災害発生状況（速報）

(令和元年10月7日現在)

業種	令和元年(1月～9月)		平成30年(1月～9月)		対30年比較	
	死亡者数(人)	構成比(%)	死亡者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	548	100.0	577	100.0	-29	-5.0
建設業	173	31.6	203	35.2	-30	-14.8
林業	29	5.3	24	4.2	5	20.8

資料：厚生労働省「令和元年における労働災害発生状況（速報）」

また、死傷災害は929人で、前年同期比51人（5.5%）減少しています。

令和元年における死傷災害発生状況（死亡災害及び休業4日以上の死傷災害）（速報）

(令和元年10月7日現在)

業種	令和元年(1月～9月)		平成30年(1月～9月)		対30年比較	
	死傷者数(人)	構成比(%)	死傷者数(人)	構成比(%)	増減数(人)	増減率(%)
全産業	79,591	100.0	81,452	100.0	-1,861	-2.3
建設業	9,790	12.3	9,943	12.2	-153	-1.5
林業	878	1.1	929	1.1	-51	-5.5

資料：厚生労働省「令和元年における労働災害発生状況（速報）」

関係各位におかれては、基本動作の励行、労働安全衛生規則や各種ガイドラインを遵守するなど、引き続き労働災害の撲滅に向けご協力をお願いします。

## ○ チェーンソー防護ブーツの着用について検討をお願いします。



チェーンソー防護ブーツにより、確実に足もとの創傷を防止又は軽減することができるのですが、いまいち普及が進んでいきません。「歩きにくい」・「滑る。逆に危険だ」との声が聞こえてきます。皆さん思い出して下さい。チェーンソー防護衣の着用を進められた時のことを。「重い、歩きづらく逆に危険だ」そんな風に言ってませんでしたか。

厚生労働省の「労働災害原因要素の分析」によれば、林業の平成27年休業4日以上の創傷による死傷者数439のうち、6割を下肢が占めていますが、そのうち約半分を足首、甲、足指などの防護ズボンでは防げない部分が占めていることはあまり知られていません。

**林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）**

・新潟県（発令期間：R元. 8. 21～R元. 11. 30）・宮崎県（発令期間：R元. 10. 21～R2. 1. 31）

・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.html>

・林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-osei.org)

林野庁  
林業労働対策室  
労働安全衛生班  
TEL:03-3502-1629

# 林業安全コラム

令和最初の年末年始  
安全健康 心に誓う  
(中災防令和元年度年末年始無災害標語)

## ○ 年末年始無災害運動について

12月1日から1月15日までの年末年始を無事故で過ごし明るい新年を迎えましょう。

## ○ 林業労働安全の出前授業の実施について



12月2日、岐阜県立加茂農林高等学校森林科学科2年生40人を対象に、当室から安全意識の向上を促す授業の実施と合わせ、家族、親戚、地域の方々への労働安全の呼びかけも依頼しました。

## ○ チェーンソー防護ブーツの着用について検討をお願いします。

前月号で取り上げた厚生労働省の「労働災害原因要素の分析」を少し詳しく説明します。平成27年、21年、15年の創傷による休業4日以上死傷者数とそのうち下肢の創傷が占める数・割合を下に記載しました。どの年の調査でも下肢の創傷が全体の約6割を占め、うち約3割は足部（足首、足体、足指）の防護ズボンで保護されない部分が占めています。

チェーンソー作業に当たっての防護ブーツの着用をご検討ください。

○平成27年439人下肢249人56.7%

●平成21年773人下肢498人64.4%

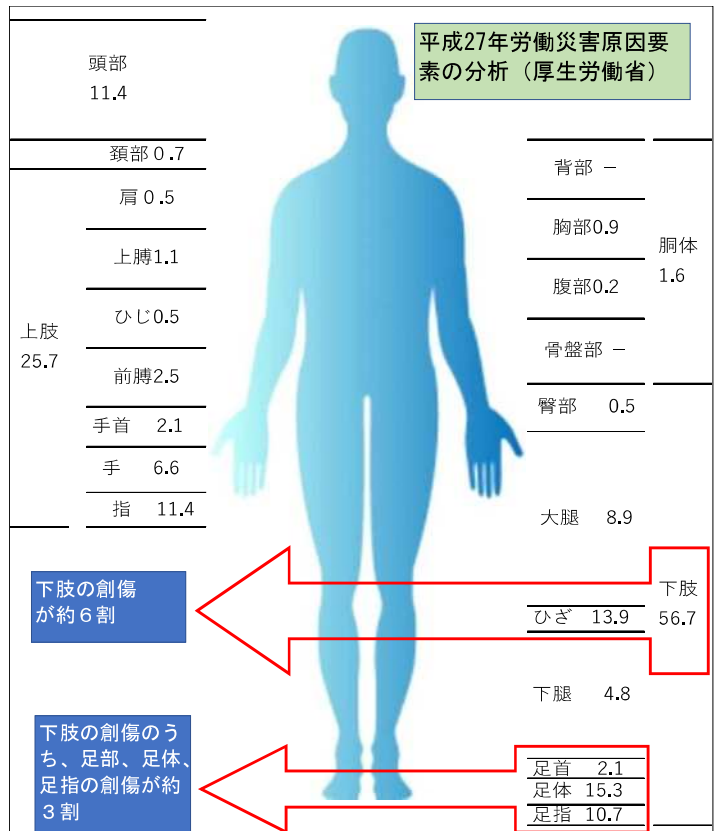
◎平成15年1,018人下肢582人57.2%

○平成27年足部123人28.1%

●平成21年足部225人29.2%

◎平成15年足部255人25.1%

※ 歩きづらく、斜面では逆に滑って危険だとの声がありますので、防護ブーツの選び方、試着出来る場所、歩き方等について情報提供をしたいと考えています。



林業死亡労働災害多発警報発令状況（林業・木材製造業労働災害防止協会発表）  
・宮崎県（発令期間：R元.10.21～R2.1.31）

・一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.html>

・林退共制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

・労働安全指導者による安全診断が費用負担なしに受診できます。

（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局

TEL:070-6437-1562 FAX:03-5802-3298 E-mail:motojima@zousei-sosei.org

林野庁  
林業労働対策室  
労働安全衛生班  
TEL:03-3502-1629